



公益社団法人神奈川県助産師会主催

日時：6月19日（日） 13：00～16：15

会場：神奈川県総合医療会館



①事例から学ぶ CTG の判読・対応

時間：13：00～14：30

講師：プラタナス産婦人科クリニックながつた
院長 望月 昭彦 氏

②アクシデント・インシデントへの対応

時間：14：45～16：15

講師：公益社団法人日本助産師会 安全対策委員会
委員長 田村千亜希 氏



参加者数：①41名（会員15名、非会員26名）

②42名（会員16名、非会員26名）



主催者から

望月先生には、クロップミップ必須研修で規定された基本的な内容に加え、先生のご経験を交え非常にわかりやすくご講義いただきました。先生のご経験に基づく事例は非常に臨場感があり、CTGの判読・対応に対する学びにつながりました。

田村先生には、妊産褥婦と赤ちゃんの安全を守るために看護職が知っておくべき基本的な内容をご講義いただきました。「報告すること」「改善に向けて話し合うこと」は、再発防錆につながることで、そして「情報共有は医療者にとって学びである」との助言がとても心強く感じました。

これら2つの研修を通し、参加者それぞれが母児の安全に対する意識を再確認する機会となったのではないのでしょうか。

参加者から

- ・安全にはよりいっそう心がけようと思った。
- ・講師の体験した症例が具体的に紹介され、非常に勉強になった。
- ・アクシデント・インシデントに対して否定的にならず、ステップアップだと思い情報共有することが自己研鑽と成長のプロセスなんだと思った。